

# 平成29年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部障害福祉課
評価対象期間	H29.4.1 ~ H30.3.31

## 1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立サニーヒルズみずなみ
	所在地	瑞浪市陶町猿爪657-34
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	H28.4.1 ~ H33.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。</li> <li>・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。)を行う業務。</li> <li>・施設の管理に関すること。</li> <li>・その他仕様書に定めること。</li> </ul>	

## 2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H27	1,730
H28	1,803
H29	1,698

## 3 平成29年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	283,568
利用料金	282,604
指定管理料	0
そ の 他	964
支 出 計	263,018
人 件 費	195,195
施設管理費	22,030
そ の 他	45,793
差 引	20,550
納 付 金	0

## 4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・(広報について)パンフレット発行の目的は何か。実習生、地域住民に配布したとのことであるが、真に当該施設の機能を必要としている当事者に届いているか検証が必要である。	・施設入所等の希望や、見学者にも配布し施設事業を知っていただけるよう周知した。今後も引き続き、当該施設のサービスを必要とする方に情報提供していく。
・職員のストレス等、いつでも話しやすい職場の雰囲気と窓口を常にオープンにしておくこと。倫理面、障がい者観を見つめなおす機会の景況を望みたい。	・ES調査(従業員満足度調査)に基づき対応を図ったり、定期的に面談を行い悩みや相談がしやすい風通しの良い職場づくりを図っていく。

## 5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人ひとりと面接を行い、個々の支援計画を策定している。更に6か月ごとの見直しを行っている点は評価できる。</li> <li>・医療的ケアが必要な利用者を積極的に受入れている。</li> <li>・引き続き「離職しない」ための策を講じて頂きたい。「チューター制度」は有効と思われる。</li> </ul>
設置目的の充足状況	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体会やフロアー会議で支援の在り方、基本的な尊厳について話し合われている点は評価できる。</li> <li>・医療的ケアが必要な利用者を短期入所で受入れ、地域ニーズに応じている。</li> <li>・会議で話し合われたことが、更にどのような形で、どの程度実践されているかを評価する仕組みを考えられたい。</li> </ul>
公共性の確保の状況	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を強化し、認知度が広がり、地域福祉の貢献に努めている。</li> <li>・地域の拠点施設として、行政関係機関、団体との連携に努めている。</li> <li>・引き続き、地域との関係・交流に努める事により、危機管理にも繋がる。</li> </ul>
経営状況	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の経営会議の実施、節電・節水・消耗品購入に関する他施設との連携、新規3名の短期入所事業の受入れ、など地道な努力をしている点は評価できる。</li> </ul>
派生的効果	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すえ福祉村」の要的存在として、緊急災害時の福祉避難所として受入れを実施している。また、各種イベントへの積極的な参加や、幼稚園、宅老所などへ利用者代表者が出向くなど逆ボランティアを自ら行い、地域とのかかわりを深めている点は評価できる。</li> <li>・ボランティア受入れなどからのつながりにより地元の方の雇用に結びついている。</li> <li>・ボランティアの受入れは清掃など労務提供型ボラに特化しており、利用者の生活を豊かにするボラ受けいれが少ない。とりわけ自由な外出を支援する外出支援ボラは利用者理解やリスク管理などの研修と利用者との関係構築の体験が必要であり、ボラ育成プログラムが必要になる。それだけ施設側の努力が大事になるが担当を決めて取り組まれたらいいかがか。</li> </ul>

### <評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

## 6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な利用者を積極的に受入れる、福祉避難所として避難者の受入れを行う等、地域のニーズに応じており、東濃地区の支援拠点施設としての役割を担っている。</li> <li>・施設において各種イベントを開催し、また施設外の各種イベントに積極的に参加することにより、地域との関係・交流に努めている。</li> <li>・施設の広報について、より効果的な方法を模索していく必要がある。</li> </ul>

### <評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する